

1. 開会

(1)趣旨説明

片田 敏孝 (群馬大学大学院 教授)

みなさんおはようございます。この釜石でお会いできること嬉しく思います。本当に遠路昨日はご苦労様でした。なんとか皆様に辿り着いていただき本当に良かったと思います。これだけ遠いものですから三日間の日程はとっているものの実質真ん中一日くらいしかできないという、これも遠いところゆえと思いますが、少しこのプロジェクトについてご説明をしていきたいと思っています。



本日は、何らかの形で私自身が研究者として取り組みを行わせていただいている、本当にお世話になっている地域の先生方にお集まりをいただいております。いろいろ防災の取り組みを私なりに頑張ってきています。そして、研究者として防災教育のあるべき方向とはどういうものだろうということを試行錯誤しながら、先生方と一緒に取り組んでいます。しかし、正直、模索状態です。現場によってみな違うわけですし、また向かい合っている子ども一人ひとりの状況によっても、こうやればいいんだという定まった形がありません。

今日ここにお集まりいただいている先生方は、非常に頑張ってくださいと、そしてさらに言わせていただくなれば、“何らかの大きな成果をあげておられる方々”に集まっています。なぜこういうことをしたかという、防災教育の研修会を開催すると、たいいてい自称専門家は、防災教育は「～あるべきだ」と口述しておしまいです。けれども、私はみなさんにそんなお話をする定まったものなど何も持っていません。ただ一生懸命やっていたというだけです。先生方も同じでそれぞれ模索しながらやっておられると思います。

そこで、「こんな風にうまくいった」「あんな風にうまくいった」「こういう風にやったら子どもたちがこんなに変わっていった」という、その成功事例・成功体験を、どんな小さなことでも良いので、共有したいと思っています。なぜかという、と、「どうやればうまくやれるのか」ということを誰もわかっていないわけです。ですから、少なくとも自分では「こういう風にやったら、こういう風に良くなったけれど、どうしてうまくいったのだろう」と、そこに対して明確な答えはその場では出せないかもしれません。でもそれぞれの先生方に考えていただきたいのです。

また、別の事例も聞きながら「こういう風にやってもうまくいくけれど、何がこれらに共通することだろうか」と、そこに私たちは気づきが欲しいのです。自分のできる体験や成功談などは一つひとつが大変な作業ですから、いくつも経験できません。でも、それぞれの立場・場所で、それぞれがみんな頑張っています。「これをこうやったらうまくいった」というものを全部寄せ集めて「共通事項は何だろう」と考えることができます。そして、防災教育として我々が考える“あるべき方向”というものは、どちらなのかについてみんなで見つきたい、私自身もみつきたいと思っている、そういう趣旨です。

ざっくりばらんにこのプロジェクトの趣旨について申し上げます。文部科学省の方からのこういう研究費は応募して採ります。大抵が何人集めて、規定通りにどういうプログラムをこなして、「参加したい先生どうぞ」というような公募型です。そうではなくて、私は成功事例や頑張っておられる者同士で共

有したいものがあるので、こちらから情報発信するのではなく、みんなで考えたいという思いがあります。ですので、その文科省の通常の枠のプロジェクトには応募してきませんでした。ところが、文科省からわざわざ群馬大学の学長のところまで来ました。このプロジェクトは、釜石を始めとしてこうやって皆様が頑張っている状況を文科省もわかっていて、それを何とか文科省として後押ししたいと考えているところから始まりました。しかし、通常、文科省のやることは後押しではないので、こちらで思うようにやって構わないということでした。ですので、私は先生方とは個別ではお会いしているのですが、こうして一同にあって、皆様同士の交友・つながりをたくさん作っておいただきたいという風に願っています。懇親会まで含めてそれぞれの先生方が連携を、密に連絡を取り合っているような関係を今回築いていただければと思っております。かなり詰め込みのスケジュールですが、今回第一回ということで立ち上げの会です。どこまで中身を詰められるかということは、あまり考えていません。第一回のスタートで基本的な防災教育推進連絡協議会の趣旨というものを理解し、顔見知りになっていただくことが今回の趣旨かなと思っております。

これから毎年二回くらい、少なくとも今年含めて五年間は予定しています。基本的に先生方にコロコロ変わっていただくという予定はございません。このメンバーがさらに拡張することはあっても、このメンバーはできれば5年間はお付き合い願いたいです。じっくり腰を落ち着けて「防災教育ってなんだろう」「子どもたちをどういう風に変えていけるだろう」「その可能性はどんなところまであるのだろうか」というようなことをこのメンバーで掘みたいと思っております。メンバーが増えることはあると思います。「あっちでもこんなに頑張っている先生いるよ、あれは聞いた方がいいよね」というような状況があれば、どんどん入って来ていただき、その成功事例の中の共通項をみんなで探そうという趣旨です。今日を皮切りに暫く先生方にはお付き合いいただきたいと思います。できれば持ち帰ってそれぞれの活動にも今日の経験を活かしていただければと思っております。寒い中ですが、今日一日どうぞよろしく願いいたします。